

広尾病院の建替え整備について

【これまでの検討経緯】

○ 築35年超と老朽化

⇒首都直下地震に備えるためにも建替えが必要

○ 外部専門家等の検討委員会を設置

⇒新病院の機能や規模等を検討

「広尾病院整備基本構想（案）～首都災害に備えた医療機能の強化～」策定

整備のポイント

○災害に備えた施設強化

◆免震構造

◆災害時ベッド数2倍

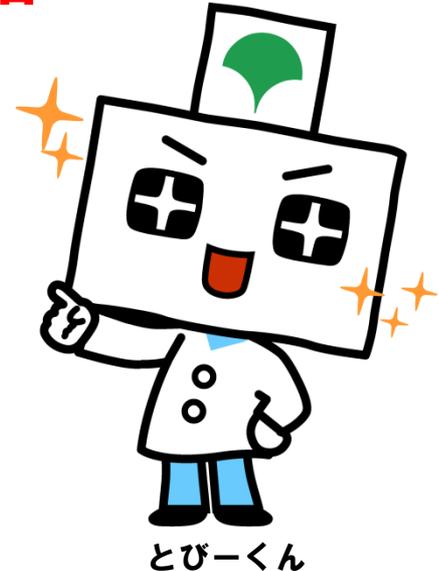
○特徴を活かした医療の提供

◆外傷診療

◆島しょ医療 等

○地域医療への貢献

◆地域貢献病床



災害時にベッドを増やすしくみ

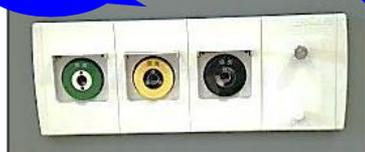
<取組例>

① 様々なスペースに簡易ベッドを置く



② 簡易ベッドで重症患者にも対応できるように、医療ガスの配管を整備

壁



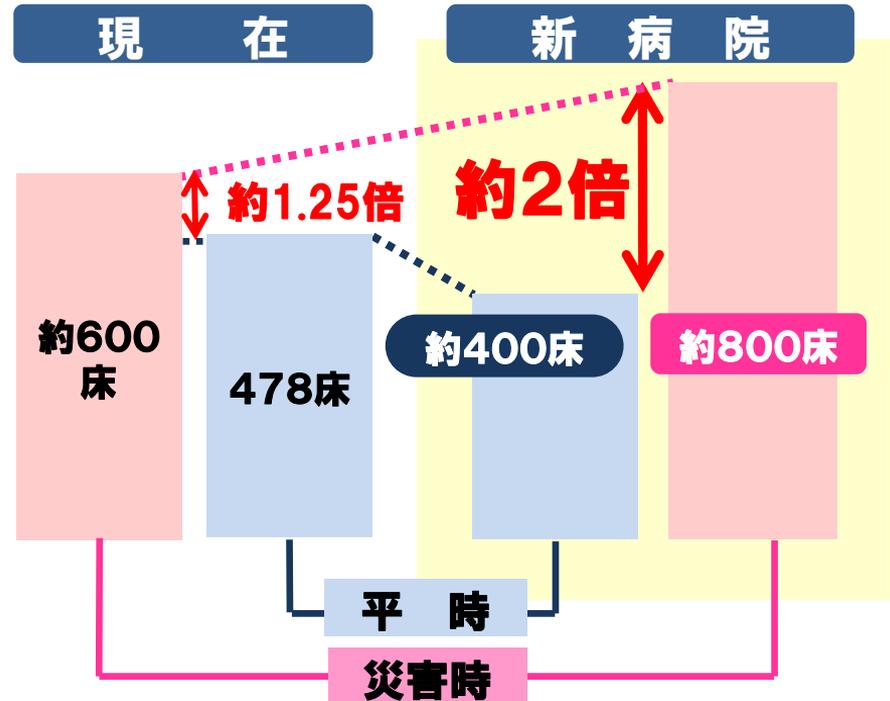
天井



<ベッド数2倍のイメージ>

現在

新病院



整備地について

○ 検討委員会

- ・ 「**地の利**」が活かせる**現在地**での整備が、より望ましいと提言

○ 東京都

- ・ **医療環境の変化を踏まえ、病院整備の前提を見直したことで
現地での建替えは可能**

(病院整備の前提)

◆ **ベッド数の適正化**

◆ **整備手法の工夫**

将来に向け、期待される役割・機能を確実に発揮していくためには、
「現地建替え整備」が適切であると判断

今後のスケジュール

○ パブリック・コメントの実施

9月11日（月）～10月10日（火）

（意見提出方法）

・ 郵送 ・ F A X ・ Eメール

※ 詳細は病院経営本部ホームページで紹介

○ 平成29年11月以降

⇒ 基本構想をもとに「基本計画」の検討に着手